

What is  
メタセコイアの会

# 金光学園の応援団!

～活動のご報告とご入会(ご協賛)のご案内～



このページをお読みいただく  
私たちが応援して下さっている  
メタセコイアの会がありがとうございます

## 総会のご案内

ぜひ、お気軽にご参加下さい!

今回「折井ユミコ オカリナ ミニコンサート」を開きます。どなたでも、ご参加いただけますので、お誘いあわせのうえお気軽にご来場ください。

と き:令和元年10月12日(土)

14:00~16:00

と ころ:金光学園内120記念館



## 入会案内

応援団の一員となるには...

### 【個人会員】

■1口5,000円。可能な方は、2口以上お願いいたします。

■振込用紙で納入または、直接学校事務室で納入してください。

■これは「入会金」ではなく「年会費」です。以前ご入金くださった方も、今年度の年会費としてお振込をお願いいたします。

### 【法人会員】

■1口10,000円。可能な方は、2口以上お願いいたします。

■全額損金扱いの「指定寄付」をお考えいただける場合は、下記までご連絡をお願いいたします。なお、「指定寄付」をいただいた場合も「メタセコイアの会」の会員とさせていただきます。

### ※会員の名簿作成と掲載について

次年度のリーフレットにも2019年度に入会(協賛)いただいた方々のご芳名を掲載予定です。掲載を希望されない方は、振込用紙の該当欄に  チェックを入れてお知らせ下さい。

【お問合せ・連絡先】 金光学園「指定寄付金係」

Tel : 0865-42-3131 Fax : 0865-42-4787

## 役員名簿

応援団だけに「旗振り役!」  
頑張ります!

会 長: 市川敏幸  
副会長: 長鋪方隆 平松晃弘 山本雅夫 横藤田 晋  
幹 事: 岩崎恭子 小川恭史 木村多志 楠戸敦子 藤井一浩  
守永一彦 宮口智子  
監 事: 大野 豊 顧問: 佐藤元信  
事務局: 佐藤正俊 藤井 尚

## 会員名簿

昨年度(平成30年度)にご協賛いただいた皆さま

中塚銀太 田中啓吾 中桐 尚 福田英雄 河田育雄 横山啓子 原田英明 宮本高義 日名成樹 中桐真彦 寺崎淑子 中山和郎 大嶋美登子 金光英子  
坂本昌彦 岡成敏正 山根近 金光浩明 宮内恭行 古川武雄 仁科琢丞 大月幸恵 佐藤正俊 仁科文秀 笠原弘孝 藤井一浩 後藤允臣 畠山高広  
吉川信雄 藤澤桂子 佐藤莊太郎 岡辺又一 高杉恭一郎 萩原邦章 寒村一郎 永廣格 日名崇 安達恭也 小野昇 堀和 小川賢治 小林彬二  
能登陸奥男 山本光彦 田淵美賀雄 田辺雅子 安藤正人 神田繁雄 井口佐恵子 横山晃晃 森本理代子 仁科義弘 佃敏子 池田登 橋本幸弘  
大橋龍一郎 塩田 慎二 横山俊則 小野泰子 古川威智雄 原田道彦 平田妙子 堀登彦 小倉由紀夫 藤井尚 佐藤英樹 湯本悠子 山本善直  
黒田泰子 森谷功 川手健一 柚木昌 岩藤知義 横谷朝久 飯田哲夫 大田泰正 池田雄亮 佐藤元信 大西恒夫 西田健陽 近藤景子 風早英雄  
三沢啓二 黒瀬邦彦 花咲宏基 長鋪愛沙 横藤田晋 津村親幸 中塚白蘭 藤田洋子 塚村俊樹 稲垣登稔 松本浩一 藤井泰明 河原彩奈  
岩崎恭子 中務尊久 藤井幸子 若狭正吾 大野豊 御藤雅文 高山晴彦 山崎欣亮 坂井孝雄 河原大悟 楠戸敦子 藤澤定子 森本計一 岡部昭延  
大橋恒康 山本雅夫 野上和義 京泉晴洋 木村佳子 日黒達之 宮口智子 村上裕美 山本剛 岡辺美智栄 岡崎憲一 渡邊直人 三宅正幸 高藤佳明  
八方良久 有富太智 森藤潔 平井康夫 滝澤稔久 小宮ちず子 太田仁士 守永一彦 木村多志 安部信一郎 友國洋 山本宏治 岡辺賢二 小林晋  
兼信英雄 高見太平 原田由紀雄 門田一宣 佐藤浩一 徳永晶子 北浦信夫 清水芳明 広江重徳 佐藤晴正 森永典文 藤沢治子 青木晴代  
羽田友子 田中誠 太田裕子 花房泰志 住山民雄 加藤昌隆 稲垣瑞恵 藤森恭孝 大村剛史 森田至 赤木繁子 佐々木絹子 中藤清 中濱博  
工藤一郎 岡本英子 浅野竜 難波神奈 森松秀人 坂本美代子 徳永健治 西一夫 赤澤光政 金光道晴 大枝裕政 市川敏幸 柚木道義 往田啓介  
佐藤和喜雄 中川弘治 平田襄二 岡本顕朗 永井美与子 長鋪方隆 名倉恵子 鍋谷真由美 永原靖浩 高9期中7期一同 高13中11期一同  
高18回古希記念 高20中18一同 高28回有志 茶道サークル 日本ホイスト(株) 匿名希望37名 以上232名(団体)〈順不同・敬称略〉

## 会 則

### ■ 目 的

〔第2条〕この会は、金光学園の建学の精神に賛同する人たちが、学校運営について意見を出し合い、会費によって、厳しい状況下における学校経営に貢献するとともに、「金光学園教育振興協力基金」の活性化をはかることを目的とする。

### ■ 会 員

〔第3条〕この会は、前条の目的に賛同し、金光学園教育を応援する会費納入者をもって会員とする。

### ■ 総 会

〔第9条〕総会は、必要に応じて会長が招集する。  
2 総会が開催されない場合は、当該年度の活動報告及び会計報告は紙面をもって行うこととする。

### ■ 運営及び年会費の額

〔第11条〕この会の運営に要する経費は、年会費、その他の収入をもって充てる。

### ■ 年会費の用途

〔第12条〕年会費は「教育振興基金」に、役員会で決定した額を寄付し、その具体的な用途については学校と相談して決定する。

A 施設設備等充実基金

B 奨学基金

C 生徒活動助成基金

## 会計報告

平成30年度の応援・支援の内容です

	科 目	金 額	摘 要
収 入	会 費	4,415,704	会員数242名
	繰越金	2,378,310	前年度より繰越
	雑 費	17	受取利子
支 出		4,215,239	
	印刷費	262,429	会報誌印刷
	会議費	17,688	役員会・総会
	通信費	126,982	切手、はがき等
	事業費	3,800,000	H30年度事業
	雑 費	8,140	文房具他
差引剰余金		2,578,792	次年度へ繰越し



# 金光学園中学・高等学校

## 教育後援会

# メタセコイアの会 2019



教育後援会  
「メタセコイアの会」  
会長 市川敏幸

皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より金光学園教育に対しましては、ひとかたならぬご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「令和」の時代を迎え、また来年には東京オリンピック開催と、未来に向けた躍動感と新たな息吹を感じる昨今であります。そうした中、タイムリーなことに金光学園の大先輩である原田武一氏が1924年開催のパリ五輪にテニスプレーヤーとして参加され、ベスト8に入られたという記録が掘り起こされました。詳細は中面をご覧くださいと思いますが、往時の寄稿文からもスポーツの黎明期にご苦労された様子がうかがえ、NHK大河ドラマの「いだてん」を彷彿とさせるものがあります。

さらに卒業生の井上全悠選手(23歳)は、卓球日本代表としての東京パラリンピック出場を目指して活躍されています。

先輩諸氏の残された熱い情熱を引き継ぎ、現在も金光学園ではスポーツをはじめ、勉学・文化面においても様々な生徒が一生懸命に活動をおこなっています。将来を背負って立つ人材を育てていくためにも、「金光学園の応援団」としてメタセコイアの会でもできるかぎりのバックアップを続けていく所存でございます。

重ねまして、さらなるご協力の程よろしくお願い申し上げます

金光学園中学・高等学校  
教育後援会「メタセコイアの会」

金光学園中学・高等学校 教育後援会「メタセコイアの会」事務局

〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田1350 金光学園内 TEL:0865-42-3131 FAX:0865-42-4787

# 原田武一氏のメッセージ

金光学園創立六十周年記念誌「六十年の歩み」より

## 40th ANNIVERSARY

(旧)十八回卒 原田武一

最近私は母校に行く機会がないのでよく判らないが、新聞紙上等で想像して、学校の運動が非常に盛んになっている様子を見て洵に結構な事だと喜んでゐる。

省りみるに、私等が在学していた大正四、五年頃は、社会に於てようやくスポーツの意義が認められつつあったが、学園内でのスポーツは他校に比し、思いもよらない貧弱さで、唯剣道部のみがあった。当時私等は世間のスポーツに対する関心の強くなつて来つつあったのに影響され、クラスメイト何人かと語り、ひそかにチームを作りテニス、野球

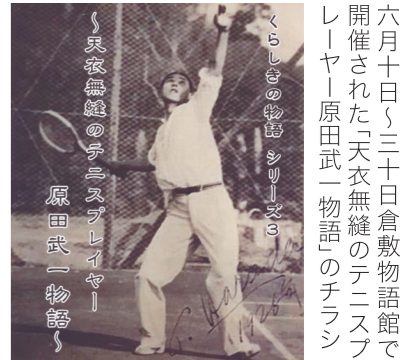


当時皇太子殿下であった平成天皇と面会する原田武一氏(左から3人目)。一説によると、平成天皇ご夫妻を軽井沢のテニスクラブで結びつけたのは、原田氏だったとか・・・。

をやったものである。それについて忘れられない思い出の一つとして、練習や級友同志の試合では物足りないもので、学校に無断で福山市に遠征し、それがバテして何日かの停学を喰つたり、自費で買った野球の道具を先生に取り上げられたりした楽しい思い出がある。

それから三十五年、今日学園のスポーツの隆々たるを見て感入のものがある。私はその後テニスを専攻、慶応を卒業したのやら庭球部を卒業したのやらわからない内に外遊、テ杯に前後五回参加した。世界テニスランクも三位で、テニスの原田、スポーツマンとしていささか認められて今日に及んだ。又一面私は社会人として今日迄荒い世間の波にもまれて来たが、私はスポーツマンとして今日ある幸いをひそかに喜んで同時に、感謝している。私は私の僅かの人生経験ではあるが、スポーツの持つ真髄である「勝つて傲らず、負けて妬まず、悔いず、常に明るく果敢に」の精神は、そのまま一般社会に処す処世訓であると考えている。

私は又、テニスマンとして今日迄次の言葉を常に座右の銘として来た。



六月十日(三十日)倉敷物語館で開催された「天衣無縫のテニスプレーヤー原田武一物語」のチラシ

それは、テニスに於いてCONFIDENCE 自信、COURT 自信、CONFIDENCE 自信、COURT 自信に於ては常に自信を持って戦う事、百万の敵来れども吾れ向わんの気概、但しウヌボレと自信は自ら別である事を心得ること。

第二Condition 情慾摂生 常にベストコンディションに於て戦えるように平素の摂生が必要である。

第三Control 調整 敵に對し、時には強く時に弱く制球術が大切である。

第四Combination 結束 自分一人でプレーしてはいけない。パートナーを常に生かすべく配合の妙を發揮する事である。パートナーに花を持たす気持。

以上の四つの言葉をテニス文でなく実社会に活用してこそ、真のスポーツの意義があるものと信ずる。人生はスポーツなり。

(岡山、平和タクシー重役) ※この文章は記念誌の原文通り

# 金光学園の卒業生に、オリンピック選手がいた!

はらだ たけいち  
**原田武一氏** 旧制 18回卒



- 1899年(明治32年)都窪郡中州村(現倉敷市)農家の長男として生まれる。1912年(明治45年)金光中学(現金光学園)入学。1917年(大正6年)金光中学卒業。慶應義塾大学入学。1924年(大正13年)ハーバード大学の「特別科」に留学。パリ五輪出場ベスト8に。
- 選手引退後、テ杯の日本代表監督等により日本のテニス界を牽引。岡山三菱自動車販売初代社長、岡山平和タクシー重役、県教育委員長等歴任。1978年(昭和53年)倉敷で逝去。(79歳)
- キャリア自己最高ランキング 全米ランキング3位。世界ランキング7位。
- 4大大会最高成績 全豪/1回戦(1932年) 全英/3回戦(1924・1930年) 全仏/3回戦(1930年) 全米/3回戦(1925年)



◀写真左 1926年(昭和元年)金光中学(現金光学園)にて模範試合をした時の写真。

写真右▶ 1962年(昭和37年)岡山国体の最終聖火ランナーでのご活躍のお姿。

## 倉敷市出身 パリ五輪8強のテニス選手



歴戦の証となるユニホーム



使い込まれたトランクケース

パリ五輪のほか、四大以降、国別対抗戦のデビ 奥行き55センチと巨大なト大会の全英オープンで2 ス杯などで世界トップク ランクケース。長い船度、全米、全仏でもそれ ラスと激戦を交わした跡 旅を支えていたのか、 それ3回戦に進出し、全 が染み込んでいたよう 使い込まれた雰囲気が 豪出場も果たした原田。 だ。徳首のタケも面白い。 当時の遠征の様子を想 展示予定の遺品約30点の 「三越大阪」とあり、市 中で、象徴的なのが所々 販品でなく、百貨店であ は、パリ五輪時に使っ に泥染みが残る布製のユ につらえていたのが分か たとみられるワッペン ニホームだ。慶応大進学 後の23年に日本一に輝 現代ではあまり見かけ が旭日旗だったり、日 き、米ハーバード大留学 ないのが縦60センチ、横85センチ、 独で交流試合を行った

# 原田武一を知ろう

倉敷市酒津地区出身のテニスプレーヤー 原田武一(1899〜1978年)を知っているだろうか。24年パリ五輪男子シングルスで8強入りするなど、大正から昭和期にかけて活躍した名選手だ。その生涯に光を当てる特別展が10日から、倉敷物語館(同市阿知)で開かれる。展示される遺品類を通して、原田の功績をたどる。(岩谷圭)



原田武一氏

## 10日から特別展 遺品通し功績たどる



パリ五輪時とみられる国旗のワッペン

記録集にヒトラーの名前があったりと、時代を物語る資料が興味深い。ハーバード大留学時代に取上げられた現地の新聞記事などからは、世界ランキング7位にも入った日本人の活躍が物珍しかった世界の世相もうかがえるようだ。

現役を終え、44年に倉敷へ帰郷した原田は戦後、県教育委員長など要職を歴任した。62年岡山国体で、聖火ランナーの最終走者を務めた写真が残るように、まさに岡山スポーツ界の礎を築いた1人の姿が浮かび上がる。

2019.6.6  
山陽新聞より

# 卒業生に、東京パラリンピックを目指している選手がいる!

東京パラリンピック 卓球日本代表を目指す

井上全悠選手

後援会のホームページを開設しました!

後援会 会員募集中!



私は生後8か月の時に交通事故に遭い、脚に障害が残りましたが、子どもの頃からスポーツが好きで、金光学園では卓球部に入学しました。そして中学2年生の時、顧問の先生から障害者スポーツのアジアユース大会に「挑戦してみないか」と声をかけてもらったことをきっかけに、世界を目指し始めました。高校、大学時代には日本代表として海外の多くの試合に出場し、社会人となった現在は

### 後援会の目的

岡山県倉敷市玉島出身の井上全悠選手の2020年東京パラリンピック出場を応援することを目的とします。

### 入会について

個人会員 1口 1,000円以上  
法人・団体会員 1口 10,000円以上  
※入金方法等、詳細はHPをご覧ください、下記事務所までお問い合わせ下さい。

### プロフィール

井上全悠(井上のうえ まさちか) 1995年8月12日(23歳)  
金光学園高等学校卒業、山陽学園大学卒業、現山陽学園大学職員  
【2018年の主な受賞歴】  
倉敷市スポーツ栄誉賞、岡山県トップアスリート賞、岡山人見絹江頭彰賞

### 井上全悠選手 後援会

事務所/岡山市中区平井1-14-1(山陽学園大学内)  
玉島事務所/倉敷市玉島中央町2-3-12(玉島商工会議所内)  
TEL:086-272-6254 FAX:086-273-3226  
mail:somu@sguc.ac.jp HP:http://masachika-koenkai.net



世界ランキング14位まで上がりました。

2020東京パラリンピック出場は私の大きな夢であり、目標です。そのためには来年の4月までに10位以内に入らなければなりません。今までたくさん支えて下さった方々への恩返しと、障害を持った仲間たちに希望や勇気を与えたいと思い、日々頑張っています。応援をよろしくお願いたします。